



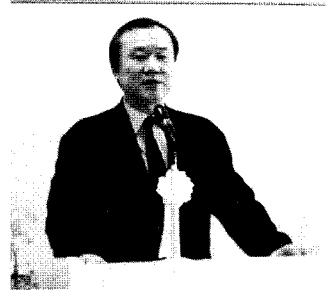
NPO 法人  
**天使のほほえみ**  
 会 報

発行所 NPO法人 天使のほほえみ  
 理事長 鎌田久子  
 〒104-0061 東京都中央区銀座 8-12-5  
 全国燃料会館 9階  
 年会費 個人 一口 千円以上  
 法人 一口五千円以上  
 郵便振替口座 00100-6-316987  
 特定非営利活動法人 天使のほほえみ

秋号 No.2  
 発行日 平成18年10月25日

「天使のほほえみ」発会 記念講演会  
**「胎児には心があるか」**

講師・池川明(池川クリニック医院長・医学博士)



「お腹の赤ちゃん大切に」を合言葉に、生命尊重を推進する『天使のほほえみ』発会の集いが、平成十八年四月十六日ハリウッド美容専門学校を会場に開催された。前年の十月から半年の準備期間を経て、文字通り産声を上げたのである。開会のことばに続き、戦後、闇に葬られた一億ともいわれる胎児の御霊の安らぎを祈り一分間の黙禱が捧げられた。

集まった百二十余名の参加者は発会を記念する池川明医師の講演「胎児には心があるか」に熱心に耳を傾けた。「赤ちゃんには、生まれる前の記憶があるかどうか」というテーマで聞き取り調査を実施した池川医師の研究は、テレビのニュース番組でも取り上げられ大きな話題となっている。創刊号に引き続き講演の後編をお届けします。

○お産と教育の関係

そもそも私がこの「胎内記憶」に係わりはじめたのは、ある一つの出会いが最初でした。リースクール(学校に行けない子どもたちがいますね、その子どもの学びの場ですね)の本を作っている方でした。

その方は、「これからの教育はお産が変わらないとよくなりません」とおっしゃった。私は、お産と教育は全然関係ないと思っていました。

しかしいまは、お腹のなかにいる九カ月を含めてお産から一歳半、遅くとも三歳までが育児と教育のターニングポイントだと思っています。そこまでの関わりが大事です。あとからでも取り戻せますけど、三歳までが非常に大事です。

人間って歯止めが出来ていないのですね。例えばお母さんに拒否された子でも、友だちにいじめられていても、ひとりの幼稚園の先生が認めてくれれば、その子ども

呱呱の声

今年秋篠宮悠仁親王殿下がご誕生あそばさすという、まことにお目出度い年になった。やはり「生れる」という人生の基本事には、只もう嬉しくなるものだ▲これについて、日本語、英・仏語の共通点を振り返ってみたい。英語で女性を「ウーマン」というが、日本語の「生まん」に似ている。また子宮を「ウーム」という。まるでウームと息んで赤ちゃんを生むようだ▲仏語では「生み」と同じ音の海を「ラ・メール」というが、これは同時に「母」の発音でもあり、「海」の中にも「母」という字がある▲太古、生命は海から生れたが、言葉はそのことを今に伝えている。「我は海の児白波の」と歌うと、心の底から喜びが湧き上がってくるようだ。生れようと準備中のすべての胎児に乾杯！

はすくすくと育っていくことが  
とができる。

たつたひとりでもいいから、  
人生においてその子を認め  
てくれる人がいれば、すく  
すくと育つことができる  
と言われてます。

小学校でも中学校でもあ  
る程度とりもどすことがで  
きる。でも高校に入ったら  
むずかしい。でも、学校で  
そういう先生との関わりが  
難しくなってきました。

ほんとは、先生よりお  
母さんとの関わりの方がい  
いですよね。子どもはお母  
さんのために生まれてくる  
のだから。

「どうしてお母さんのとこ  
ろに生まれてきたの？」  
「お母さんに笑ってほしく  
て」と言った子がいます。

それから「どうして生ま  
れてきたの」の問いに「ち  
いちゃな心を大きくするた  
め」と答えた子もいます。  
すごいですね。子どもです  
よ。

### ○よいお産だと思えるように

じゃあ、どういう関わり  
をすればよいかというのが、  
胎教であり、生まれた子と  
お母さんのふれあいの「カ  
ンガルーケア」なのです。

お産がこじれる大きな原  
因はお母さんの心のつらさ、  
怒り、悲しみなのです。そ  
れがあるとお産はこじれて  
きます。

おばあちゃんが来て「ま  
だ生まれなの？」といっ  
ただけで陣痛が止まってし  
まいます。余計なプレッシャー  
を与えないでというのです  
けれど、おばあちゃんはそ  
のまたおばあちゃんから言  
われてきたのかもしれないま  
ね。「まだなの、ウチの嫁  
は」なんて。こんなこといや  
だいやだと思ひながら、教  
育とか育児は世代間でつな  
がっていく。こわいですね。  
それでも、戦前までの育  
児はなんとかやってきました。  
ところが、戦後は出産を科

学として見るようになって、  
心を見なくなりました。

心理的なものは大事です。  
出産に不安を感じないお母  
さんはいません。その不安  
を煽るようなことをしては  
いけない。すくい上げるよ  
うな気持ちで包んでほしい。  
予定日過ぎて生まれないと  
きに「まだなの？」と聞か  
ずに「赤ちゃんは、生まれ  
たいときに生まれてくるか  
ら、待とうよ」と言われた  
ら妊婦さんはどれだけ救わ  
れるか。

どんなお産であっても、  
吸引分娩でも、鉗子分娩で  
も、帝王切開でも、自分の  
お産はいいお産だったと思  
えるように周りの人に関わっ  
てほしい。

「帝王切開でよかったわね。  
赤ちゃん無事で」吸引分娩、  
鉗子分娩でも「よかったわ  
ね。そんな思いまでして生  
まれてきてよかったじゃな  
いか」と言っただけなら、  
どれだけ喜ぶか。

### ○お産は待ちます

うちのクリニックではお  
産は待ちます。おばあちゃ  
んが来るたびに陣痛が止ま  
るお母さんがいた。聞いて  
みたら、結婚したときから  
のことをいう。いろいろ恨  
みつらみがあるので、  
義理の仲ですから。

「恨みつらみはよくないよ。  
おばあちゃんにだっという  
ところはあつてしょ」といっ  
ているうちに、おばあちゃ  
んがすごくいい人だと思え  
た五日目に陣痛がついて、ス  
トンと産まれてくれたのです。  
その赤ちゃんは「ありが  
とう、待ってくれて」って  
いつてくれました。その赤  
ちゃん、私の方を見てニコッ  
とほほえんでくれたから、  
そうかなと思っっています。  
赤ちゃんに断りなく吸引  
分娩をすると怒るんですよ。  
赤ちゃんが、こつち見てに  
らむんです。自分で生まれ  
ようと思っっているのに余計

なことするなつて。

そういう子は、おかさ  
んの懐に入れて「カンガルー  
ケア」をすると五分以内に  
泣き止みます。

### ○物質の赤ちゃん、 魂の赤ちゃん

私は赤ちゃんの命を助け  
るために産婦人科医をして  
いると思ってるけれど、助  
けるのは命であつて、その  
ために魂を殺しているかも  
しれないと思うようになり  
ました。



しおざわなつみちゃん(当時9歳)

生まれる前の記憶を描いた絵

雲の上で仲間とお母さんをさがしているのだという。「赤ちゃんは背中に羽がはえている。お母さんは、池上線の近くの道を水玉のワンピースを着て歩いていた。やさしそうだと思ってとびこんだ」などと話しながら絵を描いた。(創刊号2ページの池川先生講演内容をご参照ください)

魂まで見ていない。物質的に生きているのと、魂まで生きているのでは違うらしい。

不妊症の人の中には、どうしても物質的な赤ちゃんが欲しい人がいる。魂の赤ちゃんじゃないのです。だからその人たちにとって妊娠することがゴールなのです。

物質的な赤ちゃんだから、生まれてからは高級ブランドの服を着せてあげるのが大事なのです。「そうじゃないでしょう、魂のことをみてあげてください」と言いたくなります。

それから、お腹の赤ちゃんに話しかけてあげてください。そうやって育った子は、自分に自信があるから、次の子が生まれてくるときに不安がらない。喜んで迎えます。

子どもが不安がるのは愛情が足りないからです。ただ、お母さんが愛情を注い

でない子はいません。問題はコミュニケーションがへたなことです。

二人、三人と子どもを産んでいるお母さんは子どもが生まれてくることを当たり前だと思っている。そういうときに、流産する。そのときはじめて、お母さんは命つて大事なんだと知る。流産した子は「上の子たちをもっと大事にしてよ」と言いにくるんです。

それから、夫婦仲が悪い場合、流産することがある。「お母さん、仲良くね」と言いにくる。

本当にそうだな、って思えるのは、流産した方に、子どもさんからメッセージをもらえますよ、と言うと、いままでも子どもが何言っているのかわかりません、と言った人はひとりもいません。百パーセント、流産した子はこういうことを言いに来たのだ、言います。お母さんが、みんなが楽

しみにしていた赤ちゃんを流産した。その流産した子のことを教えてくれた岳人くんという子がいます。

お母さんが「お腹の赤ちゃん、雲の上に忘れ物をしたから取りに帰ったから、いなくなつたみたい」といったのです。そして岳人くんが「まだいるよ」。

「え、まだいるの。じゃまた帰ってきてって言って」「うんいいよ」「言ってくれた?」「うん、今度はね、チューリップの咲くところに女の子で来るって言うてるよ」と話をしたのですって。

そして本当に、翌年の春、妊娠されたのです。

流産や中絶した赤ちゃんは、メッセージを持つています。赤ちゃんは流産すること、中絶される理由もわかっていると思います。

「次に妊娠したときはちゃんとみてね」と命をかけて言いにくる。それを受け取ったら、その赤ちゃんの役目

は果たせたかな、と思います。

もちろんお母さんが産んでくれるって判断したら嬉しい。生まれてきて長い時間をかけてお母さんを成長させることができる。でも短い時間で成長させなければいけないときは、流産や死産、中絶を選ぶわけです。「命は大切だよ」と教えるにきているそういう子が日本に一年で三十万人いる。流産した子も合わせると、六十万万の子が亡くなっている。そういう子たちの魂一つひとつを認めてあげれば、もう少し暮らしがよくなると思います。子どもたちももつといい子に育つのではないかと思います。

いまだからこそ、お産と教育・育児が繋がっているとわかってきました。このことがみなさんに少しでもお伝えできれば、私が今日来た意味があったなあと思います。(了)

## 若い生命

11週から12週の胎児（右下は原寸大人形）

- ・心臓は鼓動している。（18—25日目より）
- ・40日目には脳波が出ていることも認められる。
- ・顔をしかめたり、飲み込む動きをし、こぶしを作ることも出来る。
- ・指も出来、足で蹴る動作も出来る。
- ・熱、接触、光、音を感じ分ける。
- ・親指をしゃぶる。
- ・体の全機能が活動している。
- ・体重は28g位、身長は6cmから8cm位。
- ・大人の掌にはまる位の大きさ。



日本プロ・ライフ・ムーブメント提供

## 主張

## 生命尊重の深意

「殺すなかれ」。モーゼの十戒はもとより、旧・新約聖書、お釈迦さまの教え、古今東西一貫していること言うまでもありません。更に生きとし生けるものを敬い拜んできたのが、日本の比類ない伝統でした。

それが昨今の痛ましい世情…。親殺し、子殺し、友人・ゆきずりの人を「虫をひねりつぶすような」殺傷。若者に増える凶行、或いは中高生の不可解な悩み・行動の深層に、胎児

の中絶とそれを認める法体制を感じます。

選ばれて奇跡的な確率で受胎する。そして、晴れてその胸に抱かれ、お乳を心待ちにしている母親から見捨てられた（戦後一億人と言われる）胎児の心身の痛み・悲しみを思わざるを得ません。

胎児は受胎の瞬間から立派な人間です。中絶は人殺し、その母子の念はどこへ？

●ブックレットに寄せて  
母体保護法の改正をのぞむ  
名古屋市 永坂好央

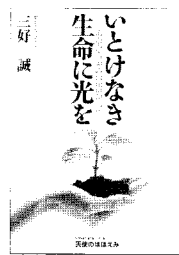
私は今迄、青少年の家庭内暴力・不登校・暴走行為・非行・ひきこもり・ニート等の主な原因は水子（墮胎）にあると想い、水子供養の大切さを折りにふれて説いて来た。

今般『いとけなき生命に光を』三好誠著を著者より送付していただき、三好先生が説かれていた優生保護法（母体保護法）の改正の必要性を痛感した。近時、

人口減少問題が浮上し、政府も取り組みはじめたが、この点も同法の改正によって解決するのは明白である。

青少年のひきこもり等も水子供養で対応することも大切であるが、水子無くす方「優保法」の改正もより大切である。

どうぞこの本を熟読玩味して優生保護法改正運動に賛同されることを切望するものであります。



※頒価  
一部300円（送料含む）、  
10部以上250円（送料含む）、  
50部以上200円（送料含む）。

◎皆で会員拡大を!!

十月十三日、マンガ家の島奈津子氏と打合せ。台本案を届け、作画に着手の予定。十月十日にはホームページ制作のプロと協議。起ち上げへスタート。小冊子二号も詰めの段階。当会の活動は着々と進行中。全国的に会員を増やし（年会費一口千円以上）世論を盛り上げましょう。

## ◆みんなの広場

武雄市 山口文弘

NPO法人「天使のほほえみ」を設立し胎児の生命を守る運動を展開されますこと喜び賛同します。ご活躍をお祈りし、近く入会して声援させていただきます。

小田原市 剣持愛子

九月六日は、真の日本人の一念が天に通じたのか、秋篠宮家に親王殿下御誕生に、日本はやはり神秘の国と感じました。又、此の間御書面頂きました「天使のほほえみ」小冊子『いとけなき生命に光を』十冊購入させて頂き、倫理の「母親教室」をやっておられる指導者の方々に差し上げました。皆喜んで受け取って頂きました。

【訂正】 創刊号4Pの書名「百人斬り訴訟」を斬る」は、「百人斬り報道」を斬る」の誤りでした。謹んで訂正致します。